

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 ..... 御言葉に耳を傾け、心を主に向けましょう。
- \*賛美 ..... 179番
- \*交読文 ..... 46番
- \*使徒信条 ..... 会衆一同
- \*頌栄 ..... 174番
- 礼拝のための祈り ..... 働き人 川合ゆきえ
- 賛美 ..... 388番
- 聖餐式..... 281番
- メッセージ ..... 遣わされる働き人の心得(出エジプト記3-4章)
- 御言葉を適用する祈り .. 会衆一同
- 賛美 ..... 257番
- 献金感謝の祈り ..... パスター
- 報告と歓迎 .....
- \*主の祈り ..... 会衆一同
- \*祝祷 ..... パスター

祈祷課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- ・病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・主に忠実で御霊に満ちた奉仕者が70名与えられるように
- ・終末の災いに実際に直面している兄弟姉妹の守りのために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

\_\_\_\_は、以前はやみであったが、今は主にあって光となっている。光の子らしく歩きなさい。光はあらゆる善意と正義と真実との実を結ばせるものである。主に喜ばれるものがなんであるかを、わきまえ知りなさい。実を結ばないやみのわざに加わらないで、むしろ、それを指摘してやりなさい。彼らが隠れて行っていることは、口にするだけでも恥ずかしい事である。ちに働いて志を立てさせ、事を行なわせてくださるのです。すべてのことを、つぶやかず、疑わずに行ないなさい。それは、\_\_\_\_が、非難されるところのない純真な者となり、また、曲がった邪悪な世代の中にあって傷のない神の子どもとなり、いのちのこぼれをしっかりと握って、彼らの間で世の光として輝くためです。(ピリピ 2:12-16)

バビロン化が進んでいく昨今の世界の中において、私達キリスト者はますますきよい者として自らを保ち、御言葉に留まり、働き人としての分を果たさなくてはならない。前回、ダニエルとその3人の友人の有り様から学んだが、今回はモーセの召命の場面から、実際に「働き人」として遣わされて行く有り方を学びたい。

『さあ、わたしは、あなたをパロにつかわして、わたしの民、イスラエルの人々をエジプトから導き出させよう』。モーセは神に言った、「わたしは、いったい何者でしょう。わたしがパロのところへ行って、イスラエルの人々をエジプトから導き出すのでしょうか。』(出エジプト記 3:10)

モーセが召命を受けたのは、80歳という高齢になってから、だった。40年前のモーセだったなら、二つ返事でOKしたかもしれない。しかし主は、人間的なヤル気が大きく気力にあふれている時は、必ずと言っていい程、ご自身のご用のために用いられることは、無い。主は、弱い者を、用いられる。ギデオンもエレミヤも、自分が若い者だと言う時に召し出し特別なミッションに就かせられた。80歳。十分な年齢である。これから何かするには、あまりに歳をとりすぎているが、主が召したのはその時だ。『主は、「わたしの恵みは、あなたに十分である。というのは、わたしの力は、弱さのうちに完全に現われるからである。」と言われたのです。』(2コリント 12:9) 何故、弱く小さい人に、主の働きが出来るのか。「わたしは必ずあなたと共にいる。これが、わたしのあなたをつかわした”しるし”である。」(出 3:12)

主が共にいる、これこそ、働き人に必須のしるしだ。御言葉は、主ご自身であり、生きておられる。もし「私達の中に御言葉があり(主と共におり)」、その御言葉が内側でじっとしておれず、出たい出たい、口から発せられて、あの人の所に入って行きたい、と感じるとき、その御言葉を発するべき時である。エレミヤは、自分の口からもしその御言葉が発せられたら、相手がどんな非道い反応をするか知っていても、発せずにいたなら、自分の中で火となって燃え上がり、焼かれるような思いがした程だ。(エレミヤ 20:9)

続いてモーセは、もし自分が遣わされた場合、あなたの名を何と紹介すれば良いですか、と問うた時、『神はモーセに言われた、「わたしは、有って有る者」。』(出 3:14) 「I AM THAT I AM」すなわち、神は、「存在する」という名である。これが、私達が相手に伝えるべき主の名であり、アイデンティティである。イエス様は、「わたし(イエス様)は、在る」事を認めない人は、罪のうちに死ぬ、と言っている。(ヨハネ 8:24) わたしは有る、ギリシア語ではエゴ・エイミーと言うが、人類全ての人には2つの選択肢がある。自分のエゴを貫き通して、罪の内に死ぬか。それとも自分のエゴを降ろし、イエス様の「エゴ・エイミー」を認めて永遠の幸いといのちを得るか。私達が主を伝える時、必ず主が在るお方である事、そのお方を受け入れるべき事を伝えなくてはならない。神は、いつでも、どこでも「有る」お方。仕事場でも家でも、そして今この時でも。この「在るお方」が「共におられる」というしるしを拠り所とし、私達は遣わされていくのである。

「わたしがあなたを遣わす」「わたしはあなたと共にいる」と主が言われたのに、モーセはまだまだ不安だった。(出エジプト記 4:1) そこで神は証拠としてのしるしを与えられる。その真っ先に与えられたしるしは、杖を蛇に変えるしるしである。(4:2-4) 蛇といえば真っ先にサタンを思い出すが、なぜ「蛇」なのか。神はサタンに活動許可を与えて放つ事も出来れば、サタンをもつかんで封じる権威もあるのだ。私達にも、蛇をもつかむ権威が与えられている。(マルコ 16:18) もし羊達を支配する道具である杖を放棄し地に放り投げってしまうなら、それは蛇となってサタンの野放し状態になってしまう。私達はしっかりと羊を治める杖を握り、たとえそれが蛇であっても、掴んで羊の杖に戻し、罪を治めるべきなのだ。

『モーセは主に言った、「ああ主よ、わたしは以前にも、またあなたが、しもべに語られてからも、言葉の人ではありません。わたしは口も重く、舌も重いのです』(出エジプト記 4:10) モーセは、これだけしるしが見せられ、主が共におられる事を示されるに及んでも、なお、他の人を遣わして下さいと求めた。主がそこまで示して下さいなのに、なお断るというのは、愚かさである。私達は主からどんなに素晴らしい御言葉を与えられ、しるしを見せられたらどうか。それをじっくり味わい知ったなら、遣わされ行くべきだ。この日本と世界に遣わされ、造り変えて行く皆さんでありますように！ イエス様の名前によって祝福します！

# 横浜天声キリスト教会

## 礼拝 週報

### 集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → <http://ustre.am/Ydeh> (Yは大文字)

#### 日曜礼拝

1部礼拝 10:30 賛美 11:00 礼拝  
食事/フェローシップ 12:00～  
2部礼拝(韓国語通訳有) 14:00  
聖書の学び 15:00

金曜徹夜祈禱会 21:00～

#### 日々の集会

月～金 早天祈禱会 5:00～  
火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00～  
火～木 夜の祈禱会 19:30～

#### 水曜集会

1部 13:00～  
2部 19:30～

### アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅  
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分  
JR・関内駅より徒歩10分  
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、  
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、  
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で  
聖書メッセージをメールで  
毎日携帯にお届けします。  
左記コードを読み込み、  
空メールを送信するだけ！



〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: [ephes\\_03-tensei@yahoo.co.jp](mailto:ephes_03-tensei@yahoo.co.jp)



モバイルサイト

